

須磨区会だよい

第63号 2026年1月23日

グループわ 須磨区会長 梶山 耿

〈目次〉

- ◆区会長 新年の抱負・・・・・・・・・・・・ 1頁
 - ◆令和7年度須磨海岸清掃活動の総括・・・・ 1頁
 - ◆令和7年度秋季須磨まち歩きの会実績・・・ 3頁
 - ◆特別寄稿：ミクロネシアでの JICA 活動・・・ 4頁



＜須磨区会折り紙教室 R7/1 2月度作品＞

▶ 新年の抱負 (区会長 梶山 耕さん 20期)

あけましておめでとうございます。 今年の干支（ひのえうま）にちなんで、情熱的でありながら変化を伴う年にしたいと思っています。

具体的には、須磨区会に 7 つあるブロック内の会員同士が、双方向のコミュニケーションを図れる仕組みを構築することです。まず、7つのブロックの連絡担当者が話し合い、次に会員のみなさまと知恵を出し合って、昨年 6 月に開催した「交流の集い」の縮小版を各ブロックの地域福祉センターで開催できないか検討してまいります。

区会員のみなさまのご協力をよろしくお願ひいたします。

▶令和7年度:須磨海岸清掃活動の総括

(世話役: 細野恵久さん 3期)

本活動は1999年に開始以来、コロナ禍の間も休まずに続け当年度で27年目となる社会貢献活動です。この間、シルバーカレッジ地域交流会の「村雨グループ」、「コスモス須磨グループ」メンバーも隨時参加した地域交流活動にもなっています。また、2022年からは地域団体の「須磨オヤジ倶楽部」が参加し、相互協力・交流の場になっています。



この活動には2010年に第1回 わ功労グループ賞が授与されています。

◎活動区域：赤灯台から東側へ須磨海岸シンボルツリーの“5本椰子の木”周辺までの約350mの松林から波打ち際までの海浜公園一帯で、約1時間の活動とっています。なお、須磨オヤジ倶楽部は西側約250mを分担しています。



◎本年度活動実績：

2025年度 須磨海岸清掃活動 集計表																
No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	13回	
日付	4月30日	5月31日	6月30日	7月7日	7月14日	7月22日	7月28日	8月4日	8月12日	8月18日	8月25日	9月30日	10月31日	11月28日	合 計	
曜日	水	土	月	月	月	火	月	月	火	月	月	火	金	金		
天候	快晴	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴/曇	晴/曇	曇	晴	雨	晴		
活動時間	10:00~11:10		8:30~9:40								10:00~11:10					
参加者	わ・須磨区会	9	12	8	9	7	7	8	9	3	9	10	6	—	6	103
	KSC地域交流G	2	3	2	2	3	2	3	5	3	3	3	3	—	1	35
	須磨オヤジ倶楽部	9	8	7	6	5	8	6	6	4	6	5	7	—	5	82
	他区会・一般				1											1
	合計	20	23	17	18	15	17	17	20	10	18	18	16	—	12	221
回収量	燃えるゴミ(袋)	2	2	6	3.5	4	5	6	9	6	4	3	2	—	1	53.5
	吸殻(上記に集合)	906	1549	892	786	510	814	607	901	347	778	633	640	—	345	9708
	燃えないゴミ(袋)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	—	1	13

・活動日・時間：4月から11月まで、7月・8月は毎週月曜日（ただし祝祭日は翌火曜日）の8時30分から、その他の月は月末日の1回（11月は28日）の10時からで各約1時間とし、雨天中止となった10月31日を除く全13回の活動となりました。

・参加者：須磨区会からは15名で延べ103人、シルバーカレッジ地域交流会からは6名で延べ35人、須磨オヤジ倶楽部からは10名で延べ82人、合計では他区会の方1名も参加して延べ221人となりました。



・収集したゴミの量：燃えるゴミと燃えないゴミ（缶・ビン等）で分別しています。また、タバコの吸殻（プラスチックフィルター）については各人が収集した本数を集計しています。



（結果は表記参照）

ゴミの主体はプラスチックゴミで、今問題となっている海洋プラスチックが漂着し波打ち際に打ち上げられたもの、それが風

で公園内まで飛ばされた
もの、また浜辺へ来た人の
ポイ捨てによるものと思
われます。瀬戸内・大阪湾
地域で大雨のあった後に
粗ゴミが増える様です。



海のシーズンが終る 9 月には行政による重機による粗ゴミの回収作業がはじまり、大きな
ゴミは目立たなくなりましたが、小さなゴミの回収には人手が欠かせないようです。

▶令和7年度秋季：須磨まち歩きの会実績

(世話役：梅田孝一さん 21期)

令和3年度からスタートした須磨まち歩きの会は今年度で5年目を迎えました。5月度に計
画した春季コースは生憎の悪天候で中止となりましたが、今回の秋季コースとして” 晩秋の長田の
源平遺跡を巡るコース ” を11月29日(土)
10時～12時の日程で8名が参加し実施し
ました。

源平の須磨一ノ谷合戦では、平氏の有力武
将が多く討ち取られ、平家は主力部隊を失い、
屋島に落ち延びることを余儀なくされました。
一ノ谷から東一帯の海岸は戦いの激戦地
になったことから、今現在も源平勇士の戦い
にゆかりのある遺跡が須磨から長田にかけて
残されています。

◎コース概要：今回コースでは秋の彩りの
深まる中、板宿から旧白川街道を辿り、その終
点となる蓮池から旧西国街道へと進み長田神
社へ向かい、史実をたどりながらこれら歴史
スポット6か所を訪れました。

神戸西代 観音山 常福寺にて ⇒



- ・常福寺＜木造五輪卒塔婆＞
神戸市指定有形文化財を特別に拝観



- ・平知章の碑：生田の森を守っていた父である大将軍・平知盛の危急を救って自ら討たれた



►特別寄稿：ミクロネシアでの JICA 活動 (北村義雄さん 28期)

皆さん、JICA海外協力隊をご存じでしょうか。開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣する制度です。



私はこれをを利用して赤道に近いミクロネシア連邦に 2018年3月から2020年3月にかけて2年間行ってきました。

この国は4州に区分された諸島によって成り立っている国で、そのうち一つの島でヤップ州という島にある州立病院の電気設備のメンテナンスについて現地の技術者に技術指導をしてきました。内容は専門的になりますのでこの度は島での生活について紹介します。

ヤップ州は日本が戦前統治していて親日家が多い州です。もうひとつの州にチュークがありますがトラック島のことで日米の激戦地でした。さてヤップ島ですが、“石貨～石で作られた貨幣～”の島と言えばお分かりでしょうか。今は使用していませんが、伝承として島の至るところで“石貨”が飾られています。



＜石貨＞

熱帯にある島ですから年中暑いですが、帰国後の感想として夏場は日本のほうがより暑いかと思います。食料は島国ですので魚と畑ではバナナ、タロイモ、パンの木、パパイヤなどが栽培されています。主食は魚とタロイモですが、それよりはアメリカや日本からふんだんに食料品が輸入されており、それを食べる割合が増えています。特にアメリカのスナック食品を多く摂っているため、



肥満型の島民が多く見受けられます。日本からはラーメン、うどん、お菓子、醤油などの調味料などが多く輸入されており、小豆もありましたので私が調理をしてぜんざいとし、日本から持ち込んだ餅を使ってカうどんを食べていただいたり、子どもには輸入のリンゴでリンゴ飴やチョコバナナと一緒に作ったりもしました。

島をほぼ一周する道路は日本の支援により作られており、道路周辺は住民によりハイビスカスやブーゲンビリアなどの熱帯の花木が植えられておりとても美しいです。



紙面に制限があり紹介できなかった、私の JICA 活動の概要を下記の URL で報告していますのでそちらをご覧ください。

(JICA 兵庫シニア OV 会ホームページより)

<https://jhsd.daa.jp/wp/m-kitamura/>

69歳以下の方はまだ JICA 派遣のチャンスがあります。是非挑戦してみてください。

「須磨区会だより」をご通読いただき有難うございます。お気づきの点は、下記編集担当までご連絡ください。

►梅田孝一 umd1218@nike.eonet.ne.jp

►井出美津子 a1b2c3d4efghi@yahoo.co.jp